

令和3年度 授業改善推進プラン 教科名（道徳）

<p>学習状況と 課題分析</p>	<p>本校の生徒は、道徳科をはじめとした学校の教育活動全体を通して、道徳的な判断力、心情が育っていて、それが道徳的实践につながる生徒が多くみられる。また道徳の授業などで自分の考えを全体に発表する生徒もいる。一方で道徳的な判断力、心情が道徳的实践としてあまり見られない生徒や、自分の考えを表現することが難しい生徒もいる。</p> <p>道徳科は、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるものである。道徳科の授業の充実をはかり、「考え議論する道徳」の実践を進めていく。</p>
<p>授業改善に向けての取組</p>	<p>○学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の要として、道徳の授業を計画的・発展的に行う。また学校行事や他教科との関連を図りながら指導を工夫していく。</p> <p>○「考え議論する道徳」の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の使用だけにとどまらず、「ねらいにあっている」「分かりやすく興味がもてる」教材を提示し、道徳的価値についての理解を深めさせる。 ・生徒が考え、議論したくなるような発問を工夫して、生徒に問いかけていく。 ・話し合い活動の方法を工夫するなどして生徒同士の意見・考えを言いやすい、聴きやすい環境にする。 ・日頃から生徒・教員間の信頼関係を深めていき、意見交換をしやすい雰囲気を作る。 ・視覚教材の活用や体験的实践を取り入れ、生徒が道徳的価値を実感できるよう工夫する。 ・ねらいとする道徳的価値に照らして必ず自己の見方、考え方やその変容を振り返らせ、道徳的实践に結びつけられるようにする。
<p>評価について</p>	<p>○ 授業の目標や指導内容と、評価が一体となった授業を展開し、生徒一人一人がいかにか成長したかを積極的に受け止めて認め、生徒自らが自分の成長を実感できる評価にする。</p>